戸籍

あなたの戸籍をつくるために

～無戸籍の方へ　あきらめないで

戸籍は、日本国籍であることを証明できる唯一の公的証明です。近年、日本人でありながら戸籍のない人（以下「無戸籍者」と言う）がいることが社会問題として取り上げられています。全国では１７２３名（7月1日現在）、県内では38名（7月26日現在）の無戸籍者が確認されています。

無戸籍となった事情

無戸籍者となった事情はさまざまです。例えば、子を出産した母親が、子の血縁上の父が別にいることを理由に、民法の「離婚後３００日以内に生まれた子は、元夫の子として戸籍に記載される」という決まりに従い、元夫の子として出生届を提出するのをためらい、子が無戸籍者となっているなどの事情が考えられます。この場合、生まれた子を血縁上の父の戸籍に記載するためには、家庭裁判所での手続が必要です。

相談窓口

鹿児島地方法務局では、無戸籍者またはその関係者から、無戸籍となった事情をうかがった上で、どのような手続によって戸籍をつくることができるか一緒に考え、無戸籍状態の解消に向けた相談支援を行っています。相談は無料です。無戸籍でお悩みの方または無戸籍者を知っている方は、まずご相談ください。

■問合せ　鹿児島地方法務局戸籍課　TEL０９９-２５９-０６６８、霧島支局　TEL０９９５-４５-００６４、知覧支局　TEL０９９３-８３-２２０８、川内支局　TEL０９９６-２２-２３００、鹿屋支局　TEL０９９４-４３-６７９０、奄美支局　TEL０９９７-５２-０３７６

※平日午前8時30分から午後5時15分まで

防災

枕崎市総合防災訓練及び東日本大震災体験者による講演を実施

今年は桜山地区６公民館（下園、中村、瀬戸口、宝寿庵、篭原、西堀）において、九州北部豪雨および西日本豪雨を教訓とした「豪雨災害対応訓練」と「東日本大震災体験者による防災講演会」を実施しますので、市民の皆さんの参加をお願いします。

日時　９月23日（日）　訓練＝午前８時50分～、講演会＝午前10時～

場所　妙見センター

内容

・豪雨災害対応訓練（桜山地区６公民館が実施）

・東日本大震災体験者による防災講演会（どなたでも参加できます）

防災無線のサイレン吹鳴等

○避難指示・勧告＝７秒吹鳴３秒休止を３回繰り返し、その後、音声放送を行います。（該当地域のみ）

※訓練に際し、サイレン等を吹鳴します。災害と間違わないようにしてください。

※駐車台数に限りがありますので、なるべく乗り合わせでご来場ください。

■問合せ　総務課危機管理対策係　TEL７２-１１１１（内線２１４）

市道の道路改良工事に伴う通行止めについて

中央交差点南側の街路３・６・15号線（台場通線）道路改良工事に伴い、港町の市道の一部が車両通行止めになります。

市民の皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■通行止期間

８月下旬～２月（予定）

■規制時間

８：30～17：00

■問合せ

建設課土木係　TEL72-1111（内線234）

Topic1　第1回スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール運営指導委員会

7月19日、本年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（ＳＰＨ）に指定された鹿児島水産高校で第１回目の運営指導委員会が開催されました。

運営指導委員会とは、学識経験者、企業等の経営者や技術・技能者、関係行政機関の職員等によって組織され、ＳＰＨ運営に関し、専門的見地から指導、助言、評価に当たります。今回の委員会では、ＳＰＨの概要説明を行ったほか、今年度実施する取り組みのうち、臨時災害放送局開設に備える取り組み、ドローンを用いて実施する藻場への新たなアプローチに関する取り組みについて経過報告、意見交換などが行われました。

意見交換では、「水中ロボットを早く完成させ、枕崎港の海底状況を調べてほしい」「市と高校生が一体となった防災訓練の実現を目指したい」などの意見が出され、積極的な意見が交わされました。

Topic2　新ＡＬＴ紹介　ハンビッキー・カイル・ザカリーさん（23）

アメリカのフィラデルフィア出身のハンビッキー・カイル・ザカリーさんが、本市の新ＡＬＴとして８月６日付けで着任しました。

片平山から眺める枕崎が好きというカイルさん。「日本では教育について学び、旅行もしたい」と話しました。今後、小・中学校での授業はもちろん、国際交流の面でも活躍が期待されます。

Topic3　工事の安全を願う　～残さい再資源化処理施設起工式

７月24日、枕崎水産加工業協同組合が新設する残さい再資源化処理施設の起工式が仁田浦町で行われました。式には枕崎水産加工業協同組合や工事関係者など約40名が参加しました。

残さい再資源化処理施設は、節類の製造工程で発生する頭や内臓などの残さいをＤＨＡ原料油や魚粉などに再資源化する施設で、現在、枕崎漁港にある施設を新設・移転するものです。今回新設することにより、施設の一部に製品の安全性を確保する高度衛生管理（ＨＡＣＣＰ）を導入するなど、付加価値向上を図ります。

西村協組合長は起工式のあいさつで、「今回の事業によってより良い商品を作り、地場産業に貢献できるのではないかと思う。本市発展のためにも、みんなで力を合わせて頑張っていきたい」と話しました。

新施設は、来年８月から供用開始の予定です。

Topic4　道路愛護の心で通りを美しく　「道の日」道路パトロール

８月は、全国一斉「道路ふれあい月間」でした。また、10日は「道の日」に定められています。

この日、市や国土交通省、南薩地域振興局建設部、警察署、商工会議所などの関係者が市街地の幹線国・県・市道の道路パトロールを行い、道路清掃や違法看板、道路不法占用などの指導・取締りを行いました。